

学校評価検討会資料

アンケート評価 集計結果

* 「よく思う」「思う」の回答 (%)

質問項目		児童	保護者	職員
1	自分には、良いところがある。	81	88	88
2	友達の良いところを見つけている。	87	96	100
3	学校の授業が楽しい。	88	83	100
4	学校の授業がよくわかる。	91	81	86
5	人の話をしっかり聞いている。	88	78	50
6	読書をするのが好きである。	79	63	75
7	進んであいさつしたり、返事をしたりしている。	79	77	75
8	いじめや暴力は絶対にやらないと心に決めている。	93	99	88
9	話し相手（相談相手）の友達がいる。	92	95	100
10	進んで体力作りをしている。	80	77	75
11	好き嫌いなく食事をしている。	75	72	63
12	テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めている。	74	65	88
13	学校が楽しい。	87	95	100
14	物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがある。	88	98	88
15	相談したり、話を聞いてもらったりしやすい先生がいる。	87	95	100
16	学校便り・学年便り・ホームページ等は、学校理解に役立っている。		96	100
17	学校では個に応じた指導をしている。		91	100

令和3年度 第2回学校評価結果と考察

○ 結 果

1 評価の高い項目（3者とも、肯定的意見が80%以上）

- ・①自分には、良いところがある。
- ・②友達の良いところを見つけている。
- ・③学校の授業が楽しい。
- ・④学校の授業がよくわかる。
- ・⑧いじめや暴力は絶対にやらないと心に決めている。
- ・⑨話し相手（相談相手）の友達がいる。
- ・⑬学校が楽しい。
- ・⑭物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがある。
（学校の教職員は、教育に対して真剣に取り組んでいる。）
- ・⑮相談したり、話を聞いてもらったりしやすい先生がいる。
（学校は保護者や地域の声を聞くように努めている。）
- ・⑯学校便り・学年便り・ホームページ等は、学校理解に役立っている。
- ・⑰学校では個に応じた指導をしている。

2 評価の低い項目（3者 or 2者が、肯定的意見が79%以下）

- ・⑤人の話をしっかり聞いている。
- ・⑥読書をするのが好きである。
- ・⑦進んであいさつしたり返事をしたりしている。
- ・⑩進んで体力作りをしている。
- ・⑪好き嫌いなく食事をしている。
- ・⑫テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めている。

○ 考 察

- ・第1回と同様に、「授業が楽しい」「授業が分かる」「学校が楽しい」の項目が、3者とも高い評価であった。これまでの取り組みに自信を持って継続していきたい。
- ・「自分には良いところがある」の項目は、3者とも80%以上の高い評価であったが、第1回と比較すると、児童の評価は4%下がった。学級やグループなどへの所属感をさらに高めたり、授業において達成感や満足感を味わわせる取り組みを今以上に工夫したりするなど、学校全体で自己肯定感を高める取り組みを継続したい。
- ・「人の話をしっかり聞いている」については、子供たちは「できている」と思っているが、保護者と職員は「十分でない」と捉えている。この意識の違いを明らかにし、改善していくことが今後の課題になると考える。
- ・「好き嫌いなく食事をしている」や「テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めている」については、メディアコントロールの日とも関連させながら、家庭にも呼び掛けて取り組んでいる。今後の様子を見届けたい。さらに、こ小中連携教育の中でも検討できると良い。
- ・本校の大きな課題の1つである「読書をするのが好きである」については、学校全体で、25日のメディアコントロールの日の家庭学習を、読書とお手伝いとするなどの取り組みを行っている。また学級や委員会などの工夫した実践により、読書の環境が整ってきているように思う。学校での様々な取り組みを継続しながら、これからは、世の中の変化に合わせた対策も考えていかななくてはいけないのではないかと考える。